

令和 2 年 10 月 9 日 (金) 発行



商大附高だより

編集 高崎商科大学附属高等学校父母の会
〒370-0803 高崎市大橋町237-1 TEL (027) 322-2827

令和 2 年度 始業式にて



第86号
2020・10

ご挨拶



父母の会会長
細谷 武司

令和二年度父母の会会長を仰せつかりました細谷と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。会員の皆様におかれましては日々の父母の会の活動におかれましてのご理解、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

異例の形での新年度スタート、その中で父母の会総会も今年度につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から開催を見送ることいたしました。本来であれば皆様の前で直接ご挨拶させていただくのですが、書面にて失礼いたします。新型コロナウイルスによる活動制限という経験した事のない環境下で学校生活を送っている生徒、この先まだまだ予測のつかない年になろうかと思っております。様々な行事が、通年と違う形で行われ、当たり前に行えない苦しさ

等であろうかと思っております。しかしそんな中で学校に通えて友達や先生と顔を合わせる事のできる喜び、学業やクラブ活動が出来ることを幸せと思ひ、この経験を糧に生徒たちが成長できるようにサポート出来ればと思ひます。歴史に残るこの困難を、保護者の代表である父母の会役員一同、そして保護者の皆様と共に様々な変化に対応しながら生徒たちの支援をしていきたいと思ひます。微力ではございますが精いっぱい務めさせていただきますので、皆様のお力添えをよろしくお願い致します。

また、今現在の社会を見ますと少子高齢化の波の中で就学、就労に関わる問題や雇用体系の多様化などにより、若者の離職率の増加等子供たちを取り巻く社会環境が大きく変化しています。この様な大変厳しい状況の中で未来を担う子供たちが豊かな社会性と優れた想像力を養い、自ら責任をもつて行動できる人間として成長していくことはすべての人の共通の願いです。子供たちを健全に育む環境と維持に助力していきたいと思ひます。

最後になりましたが、商大附の

益々の発展と父母の会会員の皆様のご多幸をご祈念申し上げ言葉整いませんが挨拶とさせていただきます。一年間よろしくお願ひ致します。

ご挨拶



校長
安齊 義宏

父母の会会員の皆様には日頃より本校の教育活動に對しましてご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

ご存じの通り、世界中に広がるコロナ禍で、様々な日常での活動が変更される状況が続いております。父母の会におきましても総会では中止となり、議題については書面表決で行われ、新しい役員改選も行われました。これまで本校の教育の充実と発展にご尽力くださいました小野里会長をはじめとした旧三年生の役員の皆様方には大変お世話になり、心より感謝申し

上げます。また、新しく役員を引き受けくださいました細谷会長はじめ、新役員の皆様方には一年間どうぞ宜しくお願い致します。

高校では、今年二月、安倍首相からの休校発表をうけ、従来の形を変えての卒業式を行いました。保護者の皆様には子どもたちの晴れ姿をお見せすることができませんでしたが、立派に新たな道への第一歩を踏み出しました。

さらに休校が続く中でしたが、新たな四六三名の新入生を迎え、四月八日、教室での入学式を実施することができました。不安を浮かべながらも、やる気に満ちたさわやかな表情もうかがえました。我々も新しい生徒たちに会え、嬉しい一日となりました。休校はその後も続き、四月・五月と生徒も教師も新たな取り組みの二か月間となりました。教師たちは授業動画の作成と配信。動画を視聴しながら一人で学習に取り組む生徒たち。Zoomアプリを活用してのオンラインホームルームでは我々も生徒も試行錯誤しながら、時に楽しく、時には眠さをこらえながら実施していました。日頃ICTに不慣れな先生もだいぶ腕を上げ

たようです。

そして、いよいよ六月一日から分散登校が始まり、その後徐々に通常授業へと移行していきました。夏休みも休校中の遅れを取り戻すため二週間短縮し、現在に至っています。この間、感染予防に対する生徒たちの意識やご家庭での基本的な予防対策への取り組み協力をいただき感謝申し上げます。引き続き宜しくお願い致します。

二学期に入りますと、三年生はいよいよ進路が具体化されてきます。三者面談等を行い、本人の希望を確認しながらアドバイスを行ってまいります。また、一・二年生につきましては新しい学校、新しいクラスにも慣れてきたところで、従来であれば、様々な行事も実施される予定ですが、昨今の状況から、生徒の安全を第一に考え行事の内容変更・延期・中止も含めて検討していきます。父母の皆様におかれましてはご理解をいただき、また、ご不明な点があれば遠慮なくお伝えください。

一学期にご協力いただきました「学校評価アンケート」におきましては貴重なご意見・ご感想をいただきありがとうございます。

内容を精査しながら改善に努めてまいります。

今後不安定な状況は続いていくと思いますが、生徒たちの安全と安心、学びをとめないことを第一に考えていきたいと思えます。そして生徒たちにはどんな逆境でも諦めず、知恵を絞り、柔軟な発想で目標に向かい進んで行っていくことを期待しています。ご父母の皆様におかれましても健康にご留意され、私たち職員と共に子どもたちを支えていただきますようお願い申し上げます。

学年委員長挨拶

三学年委員長 平澤維久

今年度三学年委員長を務めさせてもらいます平澤と申します。一年間よろしく申し上げます。三年生は進路を決めなくてはならない時期です。高校三年間で体験した事、学校生活で学んだことを生かす、社会に出て必要とされる人になれるよう頑張り、悔いのない選択をしてもらいたいです。今年一月頃から世界的に流行している新

型コロナウイルスによって今まで経験したことのない世の中になっています。三年生にとっては修学旅行が中止になったり、学校が三

月以降休校になったり、学校のイベントが相次ぎ辛い経験になってしまったかもしれません。今現在進行中のウイルスとこれからどう向き合って生活して行くか、進路を決める上でも大きな影響が出ると思います。以前のような世の中に戻ることはないと思いますが、今までに経験した事がないこの歴史的な一年を将来よい方向に語り継いで行き、これを取り切り力強く生き抜いてもらいたいです。最後に、諸先生方が進路に関して親身に接していただき感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。

二学年委員長 若林啓友

昨年度に引き続き、二学年委員長を務めさせていただきます若林です。宜しくお願ひ申し上げます。さて、いよいよ子供達は一年間の高校生活を経て、自分の将来に向かって大きな決断を下すべき時期にさしかかっています。しかし、

新型コロナウイルス感染症拡大の為に令和二年度は未曾有の危機的状況での出発となりました。

長い休校期間は何の為に有ったのでしょうか？ それは子供達の命を守る事と知らない誰かの命を守る為です。この感染症が怖い所は、無自覚のうちに、人にうつしてしまふ所、つまり、無意識に人の命を奪うかもしれない事だと言われています。子供達は休校し外出自粛して、お互いの命を守る事になりました。この事は本当に素晴らしい事だと思えます。人生において無駄な事は一つ無いと思ひます。必ずこの経験は何かの役に立つと考えております。

新しい生活は当分続きますが、会員の皆様には様々な機会での積極的な参加とご意見を聞かせていただく事をお願い致しまして、ご挨拶とさせていただきます。

一学年委員長 中嶋勝利

今年度より、一学年委員長を務めさせていただきます中嶋と申します。宜しくお願ひ申し上げます。コロナ渦難局と向き合いながら、新たな生活スタイルの教育現場

最前線の場で生徒を支えて下さっている先生方に感謝と敬意を表します。環境変化に伴い教育現場の危機対応、cJas1アプリ連絡網採用・自宅で授業を受けられるオンライン授業・家庭学習できるスタディーサプリ等、一早く取り入れた学校側の対応は、非常に感銘を受ける柔軟なものです。急激に成長してきた時代背景の中で情報化社会は、生徒をはじめ私達自身に大いなるストレスを感じ、情報が飛び交う中で、何が一番大事で今は、何を基準に判断・行動すべきか、考えさせられる場面が多々あり、まさしく自主自立の精神は、大事な場面において必要とされる教えに繋がると考えます。

今後、学校教育の課題とは少子高齢化や先生方の労働環境の悪化など取り巻く環境が深刻化してきている。私たち父母の会は、生徒の学校環境を支え、先生方と連携を取り、最重要課題と向き合いながら、生徒(子供)達の学校生活三年間が一生のかけがえのない時間になります様に応援したいと考えております。

最後になりますがこの三年間が生徒と共に考え・学び・変化し、

父母の会も一緒に成長出来ます様に初心の気持ちを忘れず、取り組んで参ります。今後共にご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

父母の会総会報告

令和二年度父母の会・部活動後援会の総会は五月二十三日(土)開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となり書面開催となりました。書面開催においては、令和元年度事業報告、令和元年度父母の会・部活動後援会決算報告、父母の会・活動後援会本部役員選任(案)、令和二年度事業計画(案)、令和二年度父母の会・部活動後援会予算(案)の承認について在校生の保護者にはクラッシュで関係資料をご覧いただき、アンケート形式でご回答をいただきました。また旧本部役員の方々には資料を送付し書面にてご回答いただきました。

審議結果については、在校生では、回答者七割、未回答者三割で、回答していただいた方には全ての

父母の会本部役員 (部活動後援会本部役員)

会 長	理 事	理 事
細谷 武司 (F3-9)	後閑 美貴 (F2-1)	新井 美紀 (F3-8)
	山本 智子 (F2-4)	内山 美紀 (S3-1)
副会長	前田 里恵 (F2-5)	
平澤 維久 (F3-11)	篠原 麻衣子 (F2-6)	監 事
若林 啓友 (S2-1)	齋藤 和世 (F2-9)	小倉 ちはる (F3-10)
中嶋 勝利 (F1-9)	内田 節子 (F2-10)	林 和 弘 (S3-2)
	堀 達也 (F2-11)	飯島 英明 (F2-2)
書 記	狩野 さゆり (F2-12)	近藤 佐智子 (F2-7)
今井 啓子 (F3-5)	山口 優子 (S2-2)	松澤 正美 (F2-3)
井堀 尊義 (F2-8)	高橋 智子 (F3-1)	永井 雅夫 (S2-1)
平野 悦子	茂木 輝章 (F3-2)	高橋 浩美 (F1-5)
	唐澤 美香 (F3-3)	徳井 直機 (F1-5)
会 計	人見 由紀子 (F3-4)	小林 智美 (F1-8)
茂木 幸恵 (F3-5)	木暮 由紀子 (F3-6)	水井 悟 (F1-9)
小柏 千亜紀 (S2-1)	石附 徳光 (F3-7)	原田 千佳子 (F1-10)
田村 真吾		宮崎 真里 (S1-2)

議案に対し「承認」をいただき、旧本部役員の方々全員にも同様の「承認」を全ての議案でいただきましたので、本校父母の会・部活動後援会会則に基づき全ての議案について「承認」されたものとなりました。

またこの結果についてはクラッシュにてご報告させていただきます。書面開催にて承認をいただきました令和二年度父母の会・部活動後援会本部役員については右記の方々になりました。

父母の会 2019年度決算報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位:円)

収入の部				
科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
会 費	16,728,000	16,891,000	△ 163,000	@1,000×1,373人×12ヶ月
入 会 金	2,295,000	2,295,000	0	@5,000×438人
受 取 利 息	3,000	191	2,809	定期預金・普通預金
衛 生 費	1,414,000	1,414,000	0	@1,000×1,414人
車 輛 購 入 費	7,600,000	7,600,225	△ 225	H9年式マイクロバス入替費用
前 年 度 繰 越 金	4,119,862	4,119,862	0	普通預金 2,561,651円/現金 1,558,211円
合 計	32,159,862	32,320,278	△ 160,416	
支出の部				
科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
備 品 費	2,000,000	1,404,000	596,000	講堂南側ドア修理、掃除用具ロッカー作成
会 議 費	1,500,000	781,247	718,753	役員会・学年・学級懇談会経費
慶 弔 費	300,000	339,940	△ 39,940	香典・花輪・餞別
補 導 費	50,000	13,200	36,800	校外の生活指導費・情報交換会等
環 境 整 美 費	2,100,000	1,200,022	899,978	掃除用品・ゴミ処理・他
保 健 衛 生 費	1,900,000	1,188,100	711,900	汚物処理・保健室常備薬等
旅 費 交 通 費	200,000	108,296	91,704	役員研修交通費等
部 活 動 賛 助 費	3,500,000	3,500,000	0	部活動後援会の補助
通 信 費	1,400,000	1,256,496	143,504	メールによる生徒連絡網システム年間管理料、他
消 耗 品 費	30,000	1,587	28,413	コピー用紙等
進 路 対 策 費	1,500,000	1,344,051	155,949	進路資料、2019年度版大学入試シリーズ
生 徒 会 事 業 協 力 費	700,000	1,439,950	△ 739,950	予餞会・商大附高祭協力金
卒 業 生 記 念 品 費	350,000	260,000	90,000	卒業祝紅白餅
教 育 研 修 費	700,000	473,639	226,361	教職員研修補助
印 刷 費	800,000	639,040	160,960	商大附高だより・学年学級懇談会結果報告書
車 輛 運 営 費	1,500,000	642,081	857,919	車輛維持・燃料代・修理代
諸 会 費	3,500,000	3,239,422	260,578	PTA 連合会費・スポーツ振興センター負担金 高P連賠償責任補償制度加入
雑 費	200,000	180,390	19,610	大会パンフレット協賛広告料等
車 輛 償 却 引 当 預 金	0	0	0	特別繰越金
車 輛 購 入 費	7,600,000	7,230,000	370,000	
創 立 120 周 年 記 念 事 業 費	1,000,000	1,000,000	0	
育 英 基 金 協 力 金	1,000,000	1,000,000	0	学園育英基金
[予 備 費]	300,000	0	300,000	
次 年 度 繰 越 金	29,862	5,078,817	△ 5,048,955	普通預金 4,673,808円/現金 405,009円
合 計	32,159,862	32,320,278	△ 160,416	

※1:慶弔費の予算超過額については、その他予算からの流用にて補填

※2:生徒会事業協力費の予算超過に関しては、予餞会中止に伴う生徒集金分を本会で負担したためであり、超過分に関してはその他の予算を流用することで補填

※特別繰越金

科 目	金 額	科 目	金 額
車 輛 償 却 引 当 預 金	前期末積立累計額 7,600,000	創 立 120 周 年 記 念 事 業 積 立 金	前 期 積 立 累 計 額 2,000,000
	当 期 預 入 額 △ 7,600,000		当 期 積 立 額 1,000,000
合 計 (当 期 末 積 立 累 計 額)	0	合 計 (当 期 末 積 立 累 計 額)	3,000,000

上記の通り決算報告致します。

高崎商科大学附属高等学校 父母の会 会長
 " 父母の会 会計
 " 事 務 局

部活動後援会 2019年度決算報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位：円)

収 入 の 部				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
会 費	25,092,000	25,336,500	△ 244,500	@1,500×1,373人×12ヶ月
入 会 金	2,295,000	2,295,000	0	@5,000×438人
賛 助 会 費	4,000,000	4,000,000	0	父母の会 350万円 同窓会 50万円
寄 附 金 収 入	300,000	405,792	△ 105,792	自動販売機売上手数料
受 取 利 息	3,000	722	2,278	定期預金、普通預金
前年度繰越預り金	3,381,955	3,381,987	△ 32	春高バレー預り預金
前 年 度 繰 越 金	6,871,499	6,871,499	0	普通預金 5,959,409円 現金 912,090円
合 計	41,943,454	42,291,500	△ 348,046	
支 出 の 部				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 会 費	22,000,000	17,728,000	4,272,000	全国総体(東海) 全国総文(長野)
報 償 費	6,000,000	4,542,164	1,457,836	講師、コーチ等の謝礼
合 宿 費	1,000,000	668,100	331,900	合宿補助
備 品 費	2,500,000	2,293,242	206,758	ベップアーツ部ユニフォーム・野球部バット、ヘルメット・他
強 化 費	3,000,000	1,725,745	1,274,255	強化大会等経費・講習会・施設利用料
渉 外 費	150,000	110,918	39,082	広告協賛金、他
車 輛 運 営 費	1,600,000	712,369	887,631	車輛維持費・燃料代・修理代
車 輛 償 却 引 当 預 金	1,500,000	1,500,000	0	積立定期預金
雑 費	50,000	660	49,340	
部 活 動 振 興 基 金	500,000	500,000	0	積立定期預金
預り金次年度繰越金	3,381,955	3,381,987	△ 32	春高バレー出場の場合のみ使用
[予 備 費]	200,000	0	200,000	
次 年 度 繰 越 金	61,499	9,128,315	△ 9,066,816	普通預金 7,227,509円 現金 1,900,806円
合 計	41,943,454	42,291,500	△ 348,046	

※ 寄附金収入について 校内に設置してあります自動販売機は購買部で管理していますが、売上手数料につきましては部活動後援会に寄附をして頂いております。

※特別繰越金

科 目		金 額	科 目		金 額
部活動振興基金	前期末積立累計額	7,000,000	車 輛 償 却 引 当 預 金	前期末積立累計額	1,000,000
	当 期 積 立 額	500,000		当 期 積 立 額	1,500,000
合 計 (当 期 末 積 立 累 計 額)		7,500,000	合 計 (当 期 末 積 立 累 計 額)		2,500,000

上記の通り決算報告致します。

高崎商科大学附属高等学校 部活動後援会 会長
 " 部活動後援会 会計
 " 事 務 局

一年生
父母が語る

我が子に望む 高校生活

普通科特選 福島 由香

志望校に合格が決まり、期待に胸を膨らませていましたが、日に日にコロナ感染拡大のニュースで期待よりも不安の方が強かったです。入学式では、新しい制服を着て集合写真を撮る事ができ、担任の先生と生徒達の様子が見れて一安心できました。

すぐにまた休校になり、オンライン授業、分散登校となり、行事も全て中止になり、親としては、友達ができるんだろうか、学力は低下してないだろうかと不安でした。

今は、ネット環境が整っているので、「Class」で先生とすぐにやりとりができるので、本人も不安な事などをすぐに解決できるので安心して居るようです。

夏休み中に面談があり、やっと落ち着いて学校が始まったと思うのに、もう進路の話。

中学校生活があつという間だつ

た様に、高校生活も同じだと思えます。新しい環境になり、不安な事もあり、失敗する事もあると思います。今でも進路に悩む時があり、ブレる時があるようですが、たくさん悩んでいいと思います。

我が子に望む事は、「何度でもやり直しができる若い今こそ、視野を広げて色々な事にチャレンジして、有意義な高校生活を送ってもらいたい」です。

高校生活を振り返った時に、満足した笑顔が見られる事を願っています。

普通科特選 岡崎 深雪

志望校を決めた時に思い描いていた未来とは、全然違った高校生活を送っています。

期待を膨らませ、ワクワクなはずの新学期は、自宅学習と分散登校で、お友達にも会えず、慣れないオンライン授業に苦戦してしまいました。新しい科目を自分で勉強するのは本当に大変で、「学校ってありがたい」ときつと思ったことでしょう。

部活動は学校再開よりさらに遅れて始まりましたが、大会は殆どなくなりました。3年生の憧れの

先輩と一緒に大会に出場したいという願いは叶いませんでした。

それでも、体育館が使える事、練習できる事、競技ができる事に以前よりも感謝することができ、大事に向き合っている様です。

大会がなくなっても、短い期間で体を酷使し、全力で代替試合に臨む先輩の姿は、娘の胸に深く刻まれた事でしょう。

コロナウイルスの流行で、様々な行事が中止となり、人との関わりが難しい世の中になってしまいました。短い高校生活、仲間や周りの人を大切に、沢山刺激を受けて、成長して行ってほしいです。

どんな状況でも、目標を見つけ、楽しんでいける逞しさを身につけて欲しいと思います。

あたりまえにできていた事が、「幸せだったんだな」と気づけた私達は、これからもっと毎日を大事に生きていけると思っています。

あたりまえを大事に、毎日を実践したものにしていって欲しいです。

普通科特進国際 青井 美津留

入学式から縮小され、きちんと

登校もできず、交流行事は無くなるという、例年になく特殊な形で始まった高校生活。これから、友達ができるのか、きちんと学校に通ってくれるのか、とても不安な思いでした。休校中、オンラインでの授業が始まり、少しずつ高校生

の自覚が芽生えてきたころ、登校が始まり、やっと通常に戻ってきたかと思ったら、一学期が終わってしまい、娘がついていけるのか心配でしたが、今はそれなりに楽しんで居るようで、一安心しました。

高校生活は、人生の中でも、とても重要な思い出作りの場、経験の場だと思うので、沢山の事を体験してほしいと思っています。国際コースに居るのだから、留学経験などもしてほしいとも、思っています。

まだ先の明確な思いが決まらない中、高校生活の中で、少しでも目標になるような事が、見つかるばいと思っています。何より、楽しんで学校生活を送れることを、心から望んでいます。

普通科進学 石川 和男

今年、新型コロナウイルスという、とても怖いウイルスが世界各国

に拡大し毎日多くの感染者が出ております。この様なウイルスは、世界でも初めての事で大変深刻な問題だと思えます。その為に、今年入学した一年生の皆さんは、胸ふくらませ楽しみにしていた入学式も形式だけの入学式になり、とても残念な気持ちで一杯だった事と思えます。保護者の方も、とても辛い気持ちで我が子を送り出したのではないのでしょうか。この様な経験は二度と繰り返したくないですね。その為にも一日も早く終息する事を祈っております。辛い経験をした生徒の皆さんも、今後は必ず明るい日々が戻って来る事を信じてください。一年生に於いては、まだスタートしたばかりです。勉強や部活、それから各々のやりたい目標がある事でしょう。高校に入学するという事は、社会人に一步近づくという事です。現在では、ケイタイは各家庭で一台ではなく一人で一台の時代です。ケイタイは、とても便利な物ですが、使い方を誤ると、とても怖い物です。特にSNS等でのトラブルが危険です。多くのトラブルや犯罪に巻き込まれるのが夏休み期間中と言われております。各ご家庭で、もう一度お子さんにご指

導して頂ければと思います。学校生活の中に於いては、普段小さな事でも担任の先生に相談すると耳を傾けて親身になって聞いて頂けるとお聞きし安心致しました。とても感謝しております。これから先、まだ色々な事があるかと思えますが楽しい事も沢山あるでしょう。すばらしい友達、すばらしい仲間、すばらしい先生方と一緒に頑張って沢山の思い出を作って楽しい高校生活を送って頂ける様に願っています。

総合ビジネス科 宮崎真里

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により入学式が中止になり、その後五月末まで休校とただでさえ新しい環境に慣れるの心配な上、勉強の遅れや生活面の不安が重なるイレギュラーなスタートとなりました。実際六月から登校が始まると、あつという間に学校生活に慣れて毎日楽しそうに通ってくれて、ほっとしています。

高校生活で息子に望むことは、自分の将来の夢に向かって、今やるべきことを自分で考え決断し行動することです。そしてたくさん失敗を経験し軌道修正し成長して

欲しいです。このコロナ禍で「新しい生活様式」に変わりつつあるこの時に、自分のやりたいことはこの時代にマッチしているのだろうか？現実と照らし合わせてあと二年半の高校生活を、私達両親、友達、先生方のアドバイスや意見を参考にして吸収してほしいです。また高校で新しくできた友達とかけがえのない有意義な時間を過ごしキラキラした高校生活を送れるといいなと思います。

生 活 する 二 年 母 我が高校時代 夏 父 夏の思い出

普通科特選 後閑美貴

高校時代の思い出と言えば、親の年になっても今でも心に残っています。私は器械体操部に所属していました。我が母校は、コーチもおらず器具不足の弱小校でしたが、先輩達と仲良く、楽しい部活でした。ただ、顧問の先生が大会には意欲的で、必ず参加でした。特に夏休みは大会が近く、普段より練習時間が長く、コーチもいて

器具も揃っている強豪校との合同練習がありました。私の家から少し遠かったですが、今ほどでないにしても暑い中、自転車走らせ通ったものです。強豪校ですから練習もかなりハードです。なぜその高校にわざわざ行っていたのか、不思議に思います。相手校にすればかなり迷惑だったのでは？とすら感じます。そんな激しい練習も部活仲間や先輩達とどうにか切り抜け、大会を目指しました。それも今となっては楽しかった思い出です。

今年の夏は近年にない暑さ、さらにコロナ禍で、思うよう夏休みが過ごせていない学生達をとても不憫に思います。辛い時期ですが、年月が経ったとき、そういえばそんな特別な夏だったなという思い出に変わることを切に願います。

普通科特選 山本智子

「ともちゃん、よう来たねえ。暑かったやろう。ゆっくしいいきんしゃい。」
子供の頃の夏休みは母方の実家で過ごすのがお決まりで、長い年はひと月、短くても二週間はお隣にいとこが住む祖母の家で過ごし

ていました。庭には大きな柿の木があつて、太く水平に伸びた枝には紐で結ばれたタイヤのブランコ。それは、私が小学生になるかならないかの頃に亡くなった祖父が作ってくれたものでした。私はそのブランコが大好きで、ぶらりぶらり揺られていました。隣に住むいとこは三兄弟。一つ年上のいとこには「都会もんが」とよくからかわれ、泣かされていました。それでも一番好きだったのは、そのいとこなので不思議なものです。

私はばあちゃんが好きでしたが、高校生の頃は素直になれませんでした。わざとそっけなくしてしまつたこと後悔しています。「ばあちゃん」「ほら、こんね。かわゆうできっかわからんばってん。」「くせ毛の私の髪はなかなかまとまらないう。ゆっくりゆっくり梳いてくれる。髪に伝わってくる祖母の手の温もりは記憶の宝です。

普通科特進国際 嘉部 真澄

私は県立吉井高等学校のハンドボール部に所属していました。夏休みは、部活に始まり部活に終わる、日焼け止めを塗っても塗って

も黒くなり、ボールを掴む為の松ヤニは何度洗っても落ちない…汗と砂と埃と松ヤニだらけでした。

一年生の夏、片品カップという大会に出場する為、片品村の民宿で合宿しました。A・B・Cコートとあり、それぞれの試合会場まで毎日走ります。それから準備、練習、試合、片付けをし民宿まで走って帰る。最終日には大切な松ヤニを会場に置いてきてしまい、また走って探しに戻りました。先輩に怒られるという怖さもあり、必死に探し回った覚えがあります。

そして部屋に戻ってから、試合に出ている派と出ていない派の喧嘩が勃発。せつかく畳んだ洗濯物を投げ合い(痛くはないのですが)、いきり立つ友人を宥めて収めました。これはハンドボール部三年間で、絶対に忘れない思い出です。

辛く苦しい思いを沢山しましたが、高校時代の努力と経験は糧になり、宝物になります。貴重な高校生活、生徒の皆さんも是非楽しんでください。

普通科進学 近藤 佐智子

三十五年以上も前の事です。女

子校へ進学した私は、創作ダンス部へ入部し充実した高校生活を送っていました。

最後の三年の夏休み、海なし県の憧れ、新潟の海へ友人と泊まりで旅行する事に。今とは違い、インターネットで調べる事は、出来ないで、どうやって旅館や交通手段を調べたのか思い出せませんが、電話をして旅館を予約し、電車、タクシーを乗り継いで新潟の海岸へ。鈍行列車は、長く時間が掛かるため、目的地に着くまで、半日以上かかったと思います。

海岸で日焼けし、夜は花火、新鮮な海の幸、とても楽しかった事を覚えていきます。

ただ、今思えば、とても危険な事だったと思います。親が安心して旅行を許可してくれるように、友人名、旅館名、電話番号など伝えました。旅行中も自宅へ連絡しました。親が自分を信用して、旅行を許可してくれた事に感謝しています。自分で色々調べ、達成出来た事は、遊びですが良い経験でした。

総合ビジネス科 飯塚 由美子

我が子でなく自分の高校時代の

思い出を語るとは思いもしませんでした。入学してから夏休みまでたどり着けないかもしれません。少し。

入学して一週間目頃にある新入生赤城研修合宿二泊三日の一泊した朝六時前、女性教諭に起こされすぐ自宅へ帰るようにと送ってもらいました。車中、何かあったのかと聞いても教えてもらえず、帰宅し祖父の姿を見て無事だと確認、中学生の弟の姿も確認、母の姿を探すが見えない為、不安。祖父から父が事故に遭い今病院に行っていると聞き、病院なら何とか安心。しかし、帰って来た母の顔が真っ青で、消えそうな声で「即死だつて」と言葉が返ってきました。忌引きで一週間休んで私の高校時代が始まりました。初めの頃はよく涙が突然こぼれてきました。クラスの皆は気を使ってか何も言わないで接してくれました。ある時、数学の授業が始まって教科書を開いた途端、涙がぼろぼろと。すると先生に「そんなに数学が嫌いなのか」と言われ「いいえ、数学は好きな方です」と泣き笑顔で答えたと覚えています。

その後、明るい感じの波乱万丈

の高校生活になるのですが原稿用紙が足りないのでもこまでに。興味があれば声をかけてください。

三年生が語る
進路達成に向けて
我が子に送る
エール

普通科特選 高橋智子

今年は新型コロナウイルスの影響でいろいろな事がありました。修学旅行がキャンセルになり、卒業式や入学式が縮小され、春休みから休校となり、かつて無い経験だったと思います。

そんなコロナ禍の中、受験を迎える娘や同級生達に私たち親は何かできるのかと悩む日々です。

ピンチはチャンスという言葉があります。今年は特に多く聞いた言葉だと思いますが、こんな特殊な状況の中、前を向いて進むという経験は誰もが初めてです。

でもこの経験が今後の人生においても多くの助けとなると信じています。

例えば学校説明会にいけな

らばインターネットで知りたい情報を得たでしょう。そして家族や先輩、友人の力を借りるありがたさも分かったでしょう。

物事の壁にぶち当たった時、ひらめきやアイデアが浮かぶものです。そして今が丁度その時。誰もが予想できない状況に直面し、乗り越えていく。その先に進むべき進路が見えてきます。

見通しは不透明ですが、先生方のアドバイスを受けて親子で乗り切って、来春には納得のいく進路達成ができれば最高ですね。

普通科特選 人見 由紀子

毎日、部活動や勉強をよく頑張っていますね。どんな時でも逃げる事なく全力で取り組んできた姿をずっとみてきました。そんな娘に向けて、エールを送りたいと思います。

「受験勉強ってとても大変で、なんでこんなに勉強しないとイケないのかな？」と思つた事があります。そんな風な風に思つた事があったし、この勉強方法でよいのかな？とか、不安な時期を過ごした時もありました。ただ、最後

は「将来なりたい自分」を思い浮かべ、そこに向かって頑張ったのだから、という思いで勉強し、不安を振り切つたのを覚えています。

また、一生懸命に取り組んだ受験勉強や部活動も、「諦めない心」として、一生の宝物になると思つていきます。単なる受験勉強と考えずに、将来の自分の「糧」になると考えて悔いの無いように頑張ってもらいたいと思います。

最後に、一生懸命頑張っているあなたなら、きっと大丈夫だと思つていきます。将来あなたが目標とする職業に就いている姿が目に見えます。夢に向かって一緒に進もうね。いつまでも応援しています！

普通科特進国際 茂木幸恵

高校三年生は、人生の節目となる年です。進路を決める時、いろいろ悩んだり迷ったりするでしょう。そういう悩みや相談ができる先生や友達に出会えたことを大切にしたいです。

また、世の中の出来事にも関心を持ってください。今、日本で世界で、何が起きているかなどです。自分で情報を得て、自分で考

え、自分で判断できるように頑張ってほしいです。

自分の夢を持ち、自分のやりたいことを見つけてください。これからの人生の節目で振り返った時、「自分はこの道を選んでよかった」と思える人生を送ってほしいです。しかし、そうとばかりはいかないでしょう。今は大いに様々な経験をやるチャンス。大人になっても一生経験、勉強ですが、若ければたくさん失敗できます。そこからいろんな事を学び、自分で転んだら起き上がる方法を身に付けてください。でも、自分ではどうしようもない時は、親、友達、先生、周りの人に助けってもらう事を忘れないでください。親はいつも見守っています。

普通科進学 木暮 由紀子

子どもが入学してから毎年役員として父母の会に参加することで、保護者の皆様と情報交換や意見交換をする場が増えました。ですが今年は父母の会総会、学年学級懇談会が中止となり、進路に向けて講師の先生からアドバイスや社会情勢などを聞く機会がありません

でした。新型コロナウイルス感染症により世界中が混乱し、身近では修学旅行の中止、各種大会の中止、学校休校など異例の出来事に困惑しました。

十一年間打ち込んできた野球に終止符を打つことで、当初の進路希望が変更になったことを親として残念に思いましたが、学びたいものがあるという強い意思を伝えてきたのでそれに賛成しました。これからは、野球を勉強に置き換え全力で取り組んでほしい。勉強でわからないところをそのままにせず、先生方や友達に教えてもらうことも大切です。失敗やミスは辛いものですが、そこから学んだことを糧に乗り越えることも大切です。進路達成に向け親として全力でサポートしていきたいと思えます。高校生活の中で、喜び、不安、後悔、勇気、感動、責任、感謝など感じた様々な感情や経験は一生の宝物になり励みになるでしょう。卒業までの残された時間は、信頼する先生方やわかり合える友達と過ごす大切な時間です。進路を達成し笑顔で卒業を迎えることを切に願います。

総合ビジネス科 内山美紀

早いもので我が家の末っ子が、高校卒業です。少し年の離れた兄達を見ていたせいか、「早く働きたい。勉強はもうしたくない。」と中学卒業時にも言っていました。現時点でも、将来就きたい職業もなく、今までがんばってきた、簿記も続ける気はないようです。思い返せば、母親の私も同じ事を言っていたなどあの時の親の気持ちしが今になってわかります。

就職時も親の勤める会社に入り、結局は自分に合わず辞めて、その後好きな車の仕事に就きました。そんな失敗もあり、進路は自分の責任で本人に決めさせてきました。興味のない事を無理に勧めても長続きしません。大変な事があっても好きなことならば乗り越えることができます。まだまだ人生は長いので、失敗しても大丈夫。本人が選んだ事ならば全力でバックアップします。どんな所でも対応できる常識と能力はついていると思います。あなただけなら大丈夫。のびのびと自分らしく前に進んでください。応援しています。



特別進学選抜・特別進学・特別進学国際コース

一年主任 山田 智恵

今年の新入生の高校生活は異例づくしのスタートでした。ご父兄に見守られての入学式も、学年全員が集まったのオリエンテーションも、宿泊研修もできずに二カ月間の休校から始まりました。友人を作る間もなく休校に入ったため、新しい生活への不安は例年以上だったと思います。慣れないオンライン授業に戸惑い、学習への不安も大きかったのではないのでしょうか。新入生たちは、しかしそんな異例づくしの一学期を実にたくましく乗り切ってくれました。その陰には高校生活への不安を抱えたお子さんたちを励まし見守って下さったご家族のサポートがあったこと

と推察いたします。

例年より短い夏休みを終え、二学期が始まります。二次からのコースをふまえ、少しずつ進路も見据えながら、じっくりと学習に取り組み、基礎学力を養成し、部活動にも積極的に取り組んでもらいたいと思います。そしてコロナ禍で再認識した「当たり前」のありがたさを忘れず、毎日大切に高校生活を充実させていきましょう。我々教職員も力を尽くしたいと思います。

特別進学選抜・特別進学・特別進学国際コース

二年主任 茂野 宏道

非日常の生活からスタートし、ようやく通常に近い形で学校生活が送られるようになった一学期でした。しかし、この原稿を書いている時点で(八月六日)コロナによる死者は七十万人を超えました。歴史を振り返ると、世界で百万人を超える死者を出した香港風邪(SARS)では、終息に三年かかりました。発生後四カ月というスピードでワクチンが開発されたにも関わらず、その供給が第二波に追い

つかなかったためです。第二波の発生は一波から約半年後、今回であれば日本だと八月から九月のあたりでした。まだワクチンも開発途中であるコロナに関して言えば、状況は日常に戻るところではないかもしれません。

これが発刊される頃には現状がどうなっているかはわかりませんが、現二年生にとっては、学校行事や受験対策など、影響を受けそうな事が多々ありますが、悲観してばかりいても始まりません。羽ばたける機会にしっかりと飛び立てるように今はじっくりと、しっかりと、こんな時期だからこそ、自分のやるべきことをきちんとやってもらいたいです。今は力を蓄える時期として。

特別進学選抜・特別進学・特別進学国際コース

三年主任 内田 由香

この三年生は、新型コロナウィルス感染症の流行のために修学旅行は中止となり、様々な事柄において大きな影響を受けてきました。仕方のないこととは言え、高校生活の最も大きな思い出作りの機会

が失われてしまったことを本当に残念に思っています。

休校から始まった一学期も、二月月足らずの通常授業で終わり、約三週間の短い夏休み。新しい生活様式の中で、今まで経験したことのない形で学校生活が過ぎていきました。一方、進路においても、

コロナとは別の入試制度改革により、今までとは異なる新しい形式へ変わります。昨年度まで実施されていた大学入試センター試験は大学入学共通テストに変わります。また、従来のAO入試は総合型選抜、推薦入試は学校推薦型選抜と名称が変わり、いずれも知識や技能だけでなく、主体的に協働して学ぶ姿勢や力が問われるようになります。そのため、しっかりと情報を集め、万全の準備をしていくことが求められています。しかしながら、このコロナ禍で、オープンキャンパスの中止や夏休みの短縮もあり、思うように進路決定のための準備が進まず、歯がゆさや焦りを感じることもあったのではないかと思います。進路選択という人生の大きな岐路に立ち、通常でも大きく気持ち揺れ動く時期に不安と戦いながらそれぞれが目

標に向かってよく頑張っているとあります。受験は団体戦ともよく言いますが、ともに努力する仲間や応援してくれる家族、一緒に走り続ける先生方もいます。自分の目標を見失うことなく励まし合いながらそれぞれの進路を達成してほしいと思っています。

コロナ後の新しい世界は、新たな価値観や常識が生まれていくと思います。そんな世界の担い手となる生徒一人一人が、今後活躍していく第一歩として、進路の達成を成し遂げてくれることを大いに期待しています。

一学年進学コース主任

須藤 陽子

晴れやかな入学式、学内のさまざまな行事、熱心に参加し仲間を得る部活動、新しいクラスメイトとの新しい日々。本来でしたら、そんな一学期を迎え、長い夏休みを過ごして、さていよいよ二学期。こんな普通を奪われてしまった令和二年度。全ての新入生が中途半端な日々に、目標も定めにくく、全力で部活動に参加することも難しくモヤモヤしているのではない

でしょうか。あるいは、自分を改めて見つめ直すよい機会と捉えた人もいるでしょう。しかし、時は止まってはくれません。今この時に足踏みせず下を見ず、しっかりと前を上を向いてほしいと考えます。自分だけでなく全ての人がこの逆境にいます。早く抜けだし、目標ある日々を見つけましょう。

一年進学コースは、短い一学期に皆勤者も八十%近くおり、部活動にも七十七%の入部者があり、意欲的に学校生活を送っていることが伺えます。二学期以降、安定した日々を送るためにも、部活動でも学習でも、しっかりと目標を持ち、過ごしてください。まずは日々の生活習慣を整え、一学期には実践できていた、あいさつと清潔な身だしなみを継続しましょう。皆さんが充実した学校生活を送れるよう、私たちも全力で取り組みます。

二学年進学コース主任

田村 章

二年生の夏休みも終わり、時間が経つのは早いもので、高校生活の約半分が終わってしまいました。今年にはコロナウィルスの影響で夏

休みも例年に比べ短くなり、あっという間の夏休みだったと思います。例年ですと、夏休みを利用して、自分の進路選択に向けて考える時間を作ることができたと思いますが、今年はどうだったでしょうか。大変な時ですが進路達成に向けて真剣に取り組むことはとても大切なことだと思います。二期には進路に関する行事も予定されていますので、ぜひ自分の進路に関して考える時間をたくさん作ってください。

進学コースは部活動と勉強の両立という目標を掲げております。先輩方も引退し、これから部活動の中心になるのは二年生です。コロナのために様々な大会が中止になったので、今年の三年生は本意な一年だったのではないかと思います。その先輩方の思いを受け継ぎ精一杯努力して有意義な高校生活を過ごして行ってほしいと思います。

将来役に立たないことも学ばなければならぬのかということも耳にすることがあります。確かに大人になって使わないこともあると思います。しかし、様々な教科を学習する中で、難しいことでも

覚えられたという経験がその後の人生において自信につながり、様々な問題を苦勞して自分で解決したという経験がこれからの人生で新しい問題に対応する力になっていくと思います。様々なことを経験して素晴らしい二年生にしてください。

三学年進学コース主任 上和田 直

進路が決定する学年のスタートは休校から始まった。新型コロナウイルス感染拡大によるものである。前年度の二月くらいから拡大し始めたコロナウイルスは勢いを増し、この学年の生徒達は高校生活最大のイベントである修学旅行まで中止となった。生徒の心情を思うと私達まで胸が張りさける思いがした。その様な状況で迎えた新学期、いきなりの休校は生徒達の不安を更に強いものにしていったと思う。五月に入ると分散登校が始まり、少しずつ授業は進められていくが、まだ生徒達の顔は晴れていない。その後、全員揃っての登校がやっと始まった。少しずつ生徒達の顔に明るさと平常がも

どってきた。例年より二ヶ月遅れての本格的スタートが始まった。

この現実はどうにすることもできない現実であり、受け入れるしかないことである。しかし、生徒達は様々な困難や苦痛を乗り越えてきたと思う。今この現状の中で進路達成に向けて生き生きと強く立ち向かっている姿には感動するものがある。もう少しの間、新型コロナウイルスとの共存は続くと思うが、この現実には立ち向かっていき自身自身が社会の流れに対応していく強い人間になってほしい。こんな時だからこそ様々なことが成長するチャンスだと思っ

てほしい。社会の現状は経済困難に陥り生活までが不安定になっている。しかし、高校生である皆は、保護者の方々に感謝し、ぶれることなく、自分の進路をしっかりと達成して行ってほしい。

総合ビジネス科主任

田村 彰 康

コロナ禍の今、学校行事の中止

延期に伴い、職場体験や、高大連携授業も実施できない状況になっています。このような状態だからこそできることを考えることが大切ですので、担当教員一丸となって創意工夫に励んで行きたいと考えています。

総合ビジネス科の授業において、現代社会における起業のあり方や企業活動の基礎、社会との関わり方など実業家育成の学習をしています。実業家育成のポイントとなるものとして社会貢献や、サステイナブルな社会づくりがあげられます。これは、生徒が学校生活の中で日々学習している思いやりの心やコミュニケーション能力、考える力が基礎となります。また、高校三年間を通してリーダーシップ能力や社会人基礎力も身につけてもらいたいと思います。沢山の友人と会話をし、授業において基本的な知識・応用力を身につけることが重要になりますので、今を大切し、常に前向きであってほしいと思います。

担当教員全員でサポートして行きたいと考えています。





1 学期 始業式

西校庭に集まっていたの始業式に替えて、放送による式となりました。



入学式

例年であれば、群馬音楽センターで行う入学式は、新入生のみのお出席で教室にておこなわれました。校長挨拶や新入生代表宣誓は放送にて各教室に流されました。



写真で綴る2020

春 ～～ 夏

コロナ禍で学校行事のほとんどが中止または変更となり、その対応に追われた今年度前半の様子を、写真でご覧ください。



分散登校

4月・5月の休校が明け、6月1日から分散登校が始まりました。教室の机の数は通常の半数に。登校時は、サーマルカメラで検温をしてから教室へ。



活動再開



7月、授業は通常通りに戻り、進路ガイダンスやスポーツの大会も徐々に行われるようになりました。





すすむICT教育

今年度から新入生全員にタブレットコンピュータが貸与されることとなりました。それに伴い全教室にWi-fiを完備し、積極的に授業で活用しています。



Webオープンスクール



Webオープンスクールはこちら

例年ですと、中学生や保護者の皆さんを迎えて実施する夏のオープンスクールも、今年は「Webオープンスクール」に変更となりました。学校紹介や部活動など数多くの動画をYoutubeで限定公開しています。在校生も出演していますので、父母の会会員のみならず方もご覧ください。上のQRコードを読み取ると特設サイトに入れます。



秋のオープンスクール

秋のオープンスクールは感染予防のために人数を限定して、参加型オープンスクールを実施することができました。



編集後記

10月発行の本誌の表紙が「桜」なのは不自然な感じがするかもしれません。例年ですと、学校行事や各種大会で活躍している生徒たちの姿が表紙を飾っているのですが、今年はその写真がありません。3月・4月・5月と休校が続き、授業も部活動もなく生徒の姿を見かけることは殆どありませんでした。外出自粛のステイ

ホーム期間中、生徒はどのように過ごしていたのでしょうか。表紙の写真は4月の始業式の日撮影したものです。久しぶりに登校した生徒たちはこの桜を見たでしょうか。友人との再会に忙しく、見上げる暇もなかったことでしょうか。世の中全体でもお花見が自粛された特別な年の桜を、改めてお楽しみいただければ幸いです。

(大澤)

